

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：地域振興対策費

事業名 イベント・コンベンション誘致推進費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

総合企画部 地域振興課 地域プロモーション係 電話番号：058-272-1111(内2545)

E-mail : c11143@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,160千円 (前年度予算額： 1,165千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 収 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,165	0	0	0	0	0	0	0	1,165
要求額	1,160	0	0	0	0	0	0	0	1,160
決定額	1,160	0	0	0	0	0	0	0	1,160

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

イベント・コンベンションの開催は、経済波及効果が高く、県内地域経済の活性化に寄与することができるため、その誘致に向けて、県内コンベンションビューローと連携しながら、県として主体的、積極的に取り組む必要がある。

(2) 事業内容

- 県内コンベンション協会等との情報交換
- 近隣県の取組状況の確認
- 宿泊施設、輸送、コンベンション施設で構成される協議会に参画し、協議会が行う誘致促進、支援・助成、広報宣伝等の活動経費の一部負担

（3）県負担・補助率の考え方

県内地域経済の活性化を図るために、観光消費額、宿泊者数を拡大していくには県負担を要する。

（4）類似事業の有無 無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	80	関係団体との連携調整、主催団体への誘致活動
負担金	1,000	世界イベント村ぎふ企業コンベンション誘致協議会負担金
その他	80	事務消耗品費、郵送料等
合計	1,160	

決定額の考え方

4 参考事項

（1）国・他県の状況

国ではイベント・コンベンション（MICE）の誘致を強化する方針を示しており、全国的に誘致競争が展開されつつある。

（2）後年度の財政負担

イベント・コンベンション誘致の経済波及効果を勘案しながら、事業の継続を検討していく。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

経済波及効果の大きいイベント・コンベンションを積極的に誘致することで、県内への誘客及び観光消費額の拡大に取り組む。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①誘致したコンベンション等による経済効果（観光消費額）	—	27,851 千円	36,000 千円	72,000 千円	108,000 千円	—

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令 和 4 年 度	○県内コンベンション協会等との情報交換 ○イベント・コンベンション等の主催団体への誘致活動 ・経済波及効果の大きいイベント・コンベンションを積極的に誘致することで、新型コロナ禍により大きく落ち込んだ県内への誘客及び観光消費額の拡大に取り組む。
	指標① 目標：118,704千円 実績：42,256千円 達成率： 35.6 %
令 和 5 年 度	○県内コンベンション協会等との情報交換 ○イベント・コンベンション等の主催団体への誘致活動 ・経済波及効果の大きいイベント・コンベンションを積極的に誘致することで、県内への誘客及び観光消費額の拡大に取り組む。
	指標① 目標：87,148千円 実績：27,851千円 達成率： 32.0 %
令 和 6 年 度	○県内コンベンション協会等との情報交換 ○イベント・コンベンション等の主催団体への誘致活動 ・経済波及効果の大きいイベント・コンベンションを積極的に誘致することで、県内への誘客及び観光消費額の拡大に取り組む。
	指標① 目標：72,223千円 実績：96,002千円 達成率： 132.9 %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3: 増加している 2: 横ばい 1: 減少している 0: ほとんどない

(評価) 2	大規模イベント・コンベンションの開催は経済波及効果が高く、県内で開催することで地域経済の活性化に寄与することができるため、事業の必要性が高い。
-----------	---

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3: 期待以上の成果あり
2: 期待どおりの成果あり
1: 期待どおりの成果が得られていない
0: ほとんど成果が得られていない

(評価) 2	コロナ禍を経て、対面形式で実施する開催方法が復活しており、実績も上がっている。
-----------	---

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2: 上がっている 1: 横ばい 0: 下がっている

(評価) 1	まとまった集客や参加者を見込める大規模なイベント・コンベンションに絞って財政支援を行うことにより、即効的かつ効率的に観光消費額や宿泊者数の拡大につなげることができる。
-----------	---

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

観光消費額、宿泊者数の拡大につながる、大規模イベント・コンベンションの開催に対して支援していく必要がある。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

経済波及効果が高い大規模イベント・コンベンションの開催への支援を積極的に進めていく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	